

水道は住民にかけがいのない、インフラです。報道などによれば、現在全国的に水道の老朽化に対応できていない自治体があると言われています。また水道法改正案が審議されており、民営化を想定しているともいわれています。市町村にとっては非常に重要な法案である、一方報道の量を見るとまだ情報が少ない分野です。報道などを見ますと、水道の広域化なども想定されており、それを考えると朝日町にとっても避けて通ることができない問題であると思います。また、水は住民生活に最も必要なものであると同時に水道料金の負担は住民にとって非常に関心の高い問題です。現在情報が少ない分野でありますので、行政としては答えにくい部分もあるでしょうから、わかる範囲で回答をお願いします。

質問

朝日町の水道は、インフラの老朽化という意味では、三重県下の中では、どれくらいの水準と考えればいいのでしょうか。

回答

朝日町の水道は、インフラの老朽化という意味では、三重県下の中では、どれくらいの水準かにつきましては、平成27年度末、当町の水道管の老朽化は、率にして約9.5%でございます。三重県内の平均は、約14.1%でございますので、老朽化対策については、進んでいる状況にあると考えております。

質問

災害が多く発生しています。その中で安全安心を考えると、水道は最も大切だと思いますが、災害を考慮した上での設備更新をしますか。またしているとすれば、

具体的にどのような点を考慮していますか。

回答

災害を考慮した上での設備更新をしていますか。また、しているとすれば、具体的にどのような点を考慮していますかにつきましては、給水拠点となる施設への重要基幹管路である導水管及び送水管の耐震化、操作を行う電気設備機器等の更新、維持修繕を行うとともに、先ほどにもありました老朽管を中心に、耐震性を有する配水管へ変更する布設替え工事を計画的に行うなど、災害時にも安全安心な水を供給できるよう対策を講じております。

質問

以前に水道料金を値上げした際に、水道の利用の数が想定よりも少なかったので、値上げをせざるをえないという理由だったと思いますが、その後水道の料金は値下げされました。給水の量と需要の量のバランスはより適切な方向に向かっていると考えて良いですか。

回答

水道料金の変更後、給水と需要のバランスは、より適切な方向に向かっていると考えて良いかにつきましては、平成29年度より水道料金を引き下げましたが、水需要は増加しており、現状では給水と需要のバランスはとれていると考えております。今後も、引き続き安定した事業経営が出来るよう努力して参ります。

質問

水道を直営で運営したほうがよいのか、民営化したほうがよいのか、それらを想定した試算は今後していきますか。

回答

水道事業の運営は、直営、民営化のどちらが良いのかを想定した試算を、今後していきますかであり

ますが、民営化については、水道法の目的である「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与する」という観点から、民営化は考えておりません。よって、試算についても考えてございません。

今回質問をしていて安心したのは、朝日町の水道の老朽化が、三重県平均と比較して、そこまで悪い状況ではないことです。三重県の中で平均よりもよければそれでいいのか、と言われると返答に困りますが、悪いよりはいいと思えますし、一定程度の目安にはなります。

水道料金が高いか安いかわかるのは難しいのですが、一時、値段を上げる時に予想より水の使用量が少なかったからと行政から説明を受けたことがあります。現在、人口は増加していますし、水需要が増えているのは、悪いことではないでしょう。水の難しいところは、需要があまりに増えても困るし、あまり減っても困るところです。おそらく、職員に「水をたくさん使った方がいいのか、使わない方がいいのか」と聞くと困った顔をする気がします。

今年は台風が非常に多い年で、あちこちに被害が出ました。しかし、その反面で、よく猛暑の時には干あがる朝明川で、この夏一度として水が途切れることを見たことがないです。水が多ければ、水害に対応しなければならないわけですが、その反面で水を豊富に使えることはいいことです。水に関しては、朝日町はまだ、心配する状況になっていないようで、安心しました。